

40. 地下水は語る 見えない資源の危機

守田 優著
岩波書店 (2013)
新書判 p.176
定価 760 円+税



目次

はじめに 世界の地下水の危機と日本

第1章 沈む大地

- 1.沈み行く東京
- 2.地盤沈下と地下水
- 3.東京ゼロメートル地帯
- 4.地盤沈下の現在

第2章 枯渇する名水

- 1.都市をうるおす湧水
- 2.井の頭池はなぜ涸渇したか
- 3.水循環不全という地下水障害

第3章 地下水と日本人

- 1.湧き水と井戸
- 2.井戸掘削の技術革新

第4章 環境としての地下水

- 1.有機塩素化合物による汚染
- 2.地下水が地下駅を持ち上げる
- 3.地下鉄道が地下水を堰き止める

第5章 地下水とどう付き合うか

- 1.地下水は誰のものか
- 2.「公共の水」としての地下水
- 3.地下水の将来

あとがき

参考文献

紹介コメント

著者は、東京都土木技術研究所（現 東京都土木技術支援・人材センター）にて地盤沈下・地下水・都市河川についての研究に従事され、その後大学で教鞭を取られている地下水の専門家です。本書では、地下水環境に視点を置き、地下水の汲み上げや揚水規制、土地利用と雨水浸透事業など地下水への人為的な働きかけを重ねて解説がされています。特に、地盤沈下と地下水枯渇の原因である地下水低下や枯渇について実務レベルでの解説が

地下水ブックガイド

されている。井の頭池の涸渇原因は地表の開発のみでなく地下水の過剰汲み上げが主な原因であり、武蔵野台地の被圧帯水層は不圧化（空洞化）していることを明らかにされている。実際の事例に従った具体的かつ分かりやすい記載となっていることから、地下水を理解する上では好著です。地下水に関する一般普及書が少ない中、このような本が多くの人に読まれ地下水に対する理解が深まっていくことが期待されます。